

「選手は移籍する。でも俺達は移籍しない」

2009年3月の開幕戦。

彼達は23人という少数で2009年のJ2という名の戦場に出撃し拳を掲げ、闘いぬこうとしていたのだ。

開幕前に怪我人も出てしまい、只でさえ少ないメンバーがさらに減っていった。

思うような戦術なんて出来るわけがない、そんな中でも投げ出さず一生懸命にチームを強くしようと頑張ってくれた監督。本当に感謝したい。

選手もまた直向きに戦った。勝ち負けではない、試合をする事だけでも精一杯なのに、プロとしてのプライド、そして愛媛FCの選手としてのプライドがあったに違いない。必死に勝利の為に闘っていた。

そんな姿に、また一緒に闘う元気をもらった。

このシーズン、辛い試合は多かった、辛い苦しいシーズンになった。

それでも選手達は何度も何度も立ち上がり、諦めずに敵に向かっていく。何回も感動をし、元気をもらった。

もう引退しているが、ある選手との忘れられない思い出がある。

彼は愛媛出身ではない。しかし愛媛の為に闘い、愛媛の事を誰よりも愛してくれた選手だった。

彼は「俺達は移籍したりして、チームが変わる事も引退して愛媛を離れる事があるかもしれないけど、サポーターの方はそうはいかないですからね。俺達も愛媛の為に試合で闘うのでサポーターの方も愛媛の為に闘って下さい。」

まさにその通りだった、俺には応援できるクラブは愛媛FCだけだった事に気づかされた。

そして愛媛FCの存在に感謝した。なくしてはダメだとも思った。

彼のプレーやゴールには何回も元気をもらった。

彼が引退した時、愛媛FCのサポーターに感謝しています！と言っていたが。感謝するのは俺達サポーターだよ。

愛媛 FC、今は弱いかもしれない。

応援していれば、辛く苦しい思いもするだろう。

しかし、そんな状況でも愛媛の為に闘っている戦士達がいる限り俺も闘い続けようと思う。

上を目指してこれからも一緒に闘おうぜ！

元気をもらった？元気をもらうどころじゃないよ。生き甲斐だよ。愛媛 FC 無しじゃ生きていけない。

愛媛 FC がゴールを決めれば喜び、勝てばさらに喜び元気をもらう。負ければ当然落ち込む。

スタジアムでの迫力あるプレーやゴール、そして勝利した瞬間はそこでしか味わえない感覚があり喜びがある。

想像して下さい。自分達の代わりに愛媛のプライドを背負って一生懸命闘う選手達。

そんな光景が毎週末観ることができる。応援する事ができる。シビれるでしょ？興奮しませんか？

そんな姿見たら、自然と元気だってでますよ。

まだ試合を観たことない皆さん！

あなたにとって愛媛 FC とはどんな存在ですか？

一回観に来てください。

きっとあなた達に元気をくれる存在になるでしょう。

私は毎週末元気をもらっています。

松山市在住 ANA 25 歳